

いち・にの・さんしん

原三信病院 広報誌

April 2003 No. 3



作品:写真部提供(佐藤秀次「春よ来い」)

病人のための病院

病院理念

「質の高い医療
「居心地の良い環境
「心のこもったサービス

病院基本方針

原三信病院の平成十五年最大の話題は、やはり電子カルテだと思います。電子カルテは非常に便利なものです。病気に関する多くの情報を、患者様へわかりやすく御説明できるのが、一番大きな魅力です。しかも病院内であれば、何時でも何処でも必要な情報を得られるのです。

半面、不便な点もあります。電子カルテの情報、検査結果などが自動的に入力されませんが、人力で入力しなければならぬところがあります。病歴入力は主に医師の仕事です。肉体的な負担はありますが、患者様の情報を再確認できるという精神的な喜びがあります。年を経る毎に、情報の量は増えますが、利用しやすくなります。「昔のカルテがなく、わからない。」そんなことはなくなるのです。

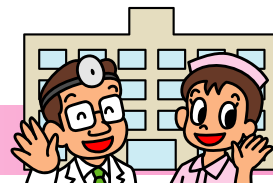
しばらくは、患者様に御迷惑をおかけすることもあると思います。原三信病院が、情報公開に前向きな点を御理解いただき、お許しただけです。よろしくお願いいたします。



副院長 山口 秋人

誰にもわかる質の高い医療を

わが町のホームドクター HOME DOCTOR

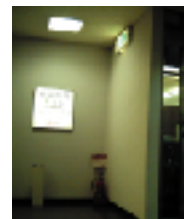


前回に引き続き、ホームドクターのご紹介をさせていただきます。私たちは、地域の先生方と協力して皆様のお役に立つよう努めています。どんなことでもホームドクターにご相談ください。



施設名 牟田内科クリニック

登録医 牟田 實
住所 福岡市博多区上呉服町10-1-B1F
電話番号 092-281-7113
診療科 内科・循環器科・消化器科
診療日 月～土(土AMのみ)



施設名 山下司内科クリニック

登録医 山下 司
住所 福岡市博多区博多駅前2丁目20-1-1F
電話番号 092-431-2265
診療科 内科・胃腸科
診療日 月～土(土AMのみ)



施設名 博多駅東クリニック

登録医 都留 智巳
住所 福岡市博多区博多駅東1丁目13-9-2F
電話番号 092-473-9177
診療科 内科・循環器科・皮膚科
消化器科・呼吸器科
診療日 月～金



施設名 桑原医院

登録医 桑原 靖道
住所 福岡市博多区東那珂1丁目17-11
電話番号 092-411-4647
診療科 内科・胃腸科・小児科
診療日 月～土(土AMのみ)



施設名 森クリニック

登録医 森 幸司
住所 福岡市博多区下川端町8-16
電話番号 092-291-2270
診療科 内科・胃腸科
診療日 月～土(水土AMのみ)



施設名 木村内科医院

登録医 木村 隆行
住所 福岡市博多区吉塚1丁目33-17
電話番号 092-621-3053
診療科 内科・消化器科
診療日 月～土(木土AMのみ)



*ここでご紹介する先生方は、当院の開放型病院制度(医院・クリニックの医師が当院において共同で診療ができる)の登録医になって頂いている先生です。

救急指定
原三信病院

病院医療機能評価認定病院

福岡市博多区大博町1-8
TEL ■ 092(291)3434
FAX ■ 092(291)3424
URL ■ <http://www.harasanshin.or.jp>
Eメール ■ webmaster@harasanshin.or.jp



診療時間
月～金曜日 9:00～13:00 14:00～17:00
土曜日 9:00～13:00

*日・祝日および8月15日・12月31日～1月3日はお休みです。但し、急患の患者様は、救急外来にて診察いたします。

診療科目
総合診療科・循環器科・消化器科・呼吸器科・感染症免疫科・糖尿病科・血液内科・腎臓内科・外科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・産婦人科・放射線科・麻酔科・臨床病理科・歯科・人間ドック

病院にゆす

MRI検査室

平成十五年三月十五日新機種導入

MRI（磁気共鳴画像）とは、強い磁石と電波を利用して色々な方向から体を撮像する検査です。もともと脳や脊髄の病気をみつけるのが得意で、頭痛や腰痛症の方の検査に最適でしたが、最近では装置の進歩で、全身に活用され、X線CTや超音波検査等で異常を疑われたあとの精密検査としても使われています。また体内の様々な血管を見る事ができるようになり、血管の閉塞の検査をはじめ、ドックにも利用されています。

当院では3月中旬より新しいMRI装置（フリップス社製、磁場強度1.5テスラ）が稼動しています。



放射線科部長 古川 達也

同社の中では現在日本最新の機種で、診断的価値の高い画像が得られます。MRIは検査中の首がうるさいとされていますが、当院の装置はもともと静かな装置のひとつです。また撮影時間も短くなっており、痛みのある方や狭いところが苦手な方も検査を受けやすくなっています。検査時間は短くても全部で30分以内を心がけています。

放射線科部長 古川 達也



職場紹介コーナー

腎センター編

原三信病院の腎センターは本院の腎臓内科と呉服町診療所から成っています。スタッフの構成は常勤医2名・非常勤医10名・看護師30名・臨床工学士1名・事務1名です。本院では腎臓病の早期診断のため腎生検を積極的に行っています。また、透析が必要となった患者様を適切な時期に透析療法に導入しています。更に、様々な合併症で入院が必要になった透析患者様の治療を行っています。当院は総合病院なので眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科を除く殆どの分野の合併症に対応出来ます。一方、呉服町診療所では通院透析を行っています。透析台は50台で、約150名の患者様が通院されています。一週間に三回の透析を受けることは並大抵のことではありませんが、皆様前向きに治療を受けておられます。私たちは、安全な透析・きめ細かい看護・的確な診療を三本柱として出来るだけ質の高い透析医療を提供出来るように努力しています。また、昨年から呉服町診療所でも腎臓内科外来を始めました。腎臓病は自覚症状が出にくい尿や血液の検査をしないと発見できない事が殆どです。自覚症状が出た時には治療法がない場合がとても多いのです。ですから、皆様、検査などは必ずお受けになるよう、また、検尿異常を指摘されて泌尿器科で異常がないといわれた場合は必ず腎臓内科の専門医に受診されますようお願いいたします。



呉服町診療所長 片淵 律子



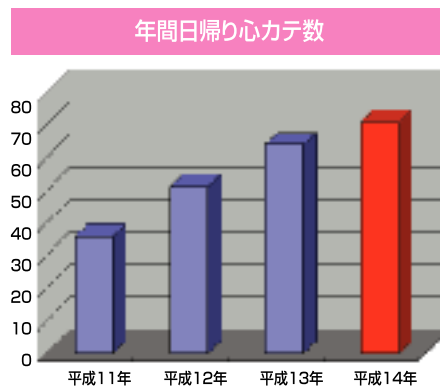
日帰り手術 センターだより

循環器科編

生活習慣病（肥満、糖尿病、高血圧、高脂血症など）という言葉が最近よく耳に思うと思いますが、それによって障害を受ける最も重要な臓器が心臓です。生活習慣病がきちんと治療されていないと心臓の筋肉に酸素や栄養を供給する血管（冠動脈）に動脈硬化が生じて狭くなり心筋梗塞や、狭心症が生じるようになります。冠動脈の状態を検査する方法が心臓カテーテル検査です。当院では心臓カテーテル検査も日帰りで行えるようになりました。

心筋梗塞や狭心症は働き盛りの中年に多く発症するため、なかなか仕事を休んでのんびりと入院などできないといわれますが、日帰りならなんとかなる場合がふつといわれ検査希望者が年々増加しています。（グラフ）

日帰りで心臓カテーテル検査が可能になった大きな要因に橈骨動脈（診察時に医師が脈を計る手首のところに動脈）からカテーテル挿入が可能になっ



たことがあります。（写真）
橈骨動脈からカテーテルを挿入して検査を行った場合、検査直後から歩行ができます。当初帰宅後のカテーテル挿入部位からの出血を心配していましたが、現在までに出血は1例もありません。かつて、大腿動脈（太ももの付け根の所の動脈）からカテーテル挿入を行っていた時は、検査後最低6時間はベルトで太ももを縛ってベッド上安静を強いられていましたので格段の違いがあります。

ただ、日帰り心臓カテーテルが可能となるには条件があります。まず、術前に主治医の診察を受けて判断を仰ぐことですが、上肢からカテーテルが可能で腎障害等の合併症がなければ年齢に関係なくほとんど可能です。

今後、カテーテルによる検査だけでなくPCI（カテーテルを用いて狭くなった冠動脈を広げる手術）も日帰りで行えるようになると思います。いまのところPCIを施行した場合は最低1泊してもらっています。

循環器科部長 林 靖生



右橈骨動脈からカテーテルを挿入しているところ

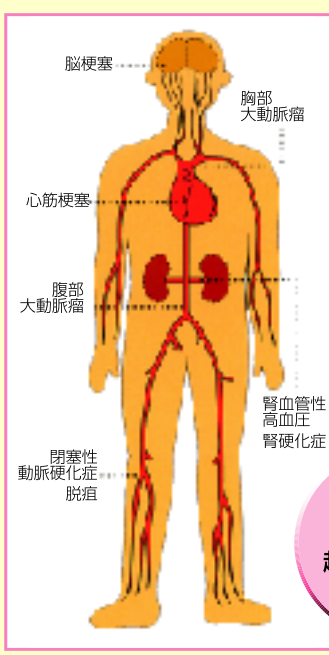
医学雑学講座

高脂血症のリスク

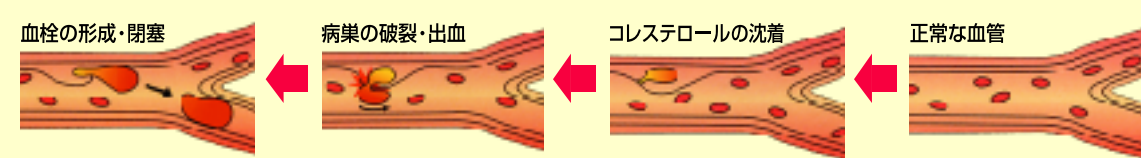
本日は、高脂血症についてのお話しです。血液中にはリン脂質、中性脂肪、コレステロールなどの脂質が存在し、この脂質の量が異常に増えた状態を高脂血症と言います。血液中の余分なコレステロールは血管の内壁に沈着し、血管壁は厚くなり、血管内腔は狭くなっていきます。これが動脈硬化です。

さらに動脈硬化が進行すると、突然、動脈硬化病巣が破裂し、出血を来す事があります。

破裂した箇所で血栓が作られ血管が詰まり、血液の流れが止まってしまうと、心筋梗塞や脳梗塞などの致命的な病気を引き起こします。高脂血症そのものに症状はほとんどなく、このように致命的な病気が、ある日突然起こります。また高脂血症には糖尿病や高血圧などを合併することが多く、高脂血症と診断されたら、動脈硬化病変・合併症の有無を精査し、早めの治療や予防が非常に大切です。



動脈硬化による障害が起こりやすい部位



薬のママ知識

タバコ・お酒と薬の関係

タバコを吸っていると、喘息の薬（テオフィリンなど）では、薬を多く飲まないと効きにくくなります。喫煙をすると薬が体から速く排泄されるからです。逆に、同じ量の薬を飲んだままの状態です。突然禁煙すると、本当ならそんなにたくさん飲んだままの状態なのに、多い薬を飲んだままになるので、テオフィリンの中毒症状が現れることがあります。もしテオフィリンを飲んでいてタバコを吸っている方が、禁煙したりタバコの量を減らしたら、必ず医師にそのことはお話し下さい。

せっかくなのでタバコを止めたり減らしたのに、中毒症状が出たら残念です。また薬の量が減らせるかもしれません。お酒は血液の循環を良くするため、薬の作用が強く現れるとされています。ただ、薬を飲んでいられるからお酒は全て禁止すると、無理な方もいるでしょう。人生がつまらなくなってしまう方もいるでしょう。飲んでいられる薬や病気の状態にもよりますので、医師に良く相談をしてみましよう。



薬剤科 田中 誠

編集後記

今回は、MRI検査の最新ニュースをお伝えすることができました。最新の機械が皆様のお役に立つことと思います。これからも、当院の様々なことをお伝えできるよう努めてまいります。ぜひ、皆様のご意見も当院意見箱などを通じて、お聞かせください。

広報委員会 委員長 原 直彦

- 当院は、救急指定病院です。急患の患者様は救急外来にて24時間365日診察を行っています。
- 当院では医療機関の機能分担と地域連携を推進しています。従いまして、現在他の医療機関に受診中の方は紹介状をご持参下さいますようお願いいたします。

